



胃がんリスク検診のご案内

【胃がん】は、日本人のがん死亡の第3位を占めており、ピロリ菌感染によって胃粘膜が萎縮し、がんが発生するといわれています。

【胃がんリスク検診】は、「ピロリ菌抗体価」と胃粘膜萎縮と相関がある「ペプシノーゲン値」を血液検査で調べて、胃がんになり易いかどうかを判断します。検査の結果により、ピロリ菌除菌の必要性の有無、胃がん検診の実施間隔などお知らせします。残念ながら胃がんの発見はできません。

令和3年4月より検査試薬を変更し、抗体偽陰性率の低下、感度の向上を目指します。尚、令和2年度までと【判定基準】が変更となっています。

陰性の判定基準(当センター): ピロリ菌抗体価

平成25年3月～平成30年3月	10U/ml
平成30年4月～令和3年3月	3U/ml
令和3年4月～	10U/ml

【胃がんリスク検診】は、基本的に一生に一度でよいといわれていますが、疾患治療時の薬剤投与により自然除菌の場合、平成30年3月以前にピロリ菌抗体価が陰性高値(3～10U/ml未満)であった場合など、ご希望があればご相談ください。

対象年齢 対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>20歳以上</u> ・初めて胃がんリスク検診を受ける方、以下の注意事項に該当しない方(食道、胃・十二指腸の疾患で治療中の方もしくは疾患が疑われる方、胃酸分泌抑制薬服用中もしくは2ヵ月以内に服用していた方、腎不全、ピロリ菌除菌後、胃切除術後) ・過去に胃がんリスク検診を受けた事がある方(*要相談)
料金 日時	ドック・生活習慣病検診のオプション 2,266円(税込み) 単独 4,565円(税込み) 毎週月曜日 14時